

自らが宇宙飛行士を目指した経験、注目が集まる宇宙開発事情を語る



のぐち そういち
野口 聡一

* 元・JAXA 宇宙飛行士

■プロフィール

1965年神奈川県生まれ。博士（学術）。

2005年スペースシャトル「ディスカバリー号」による国際宇宙ステーション（ISS）組み立てミッションに参加、3度の船外活動をリーダーとして行う。

2009年、日本人として初めてソユーズ宇宙船に船長補佐として搭乗。ISS第22次/第23次長期滞在のフライトエンジニアとして、ISSに約5か月半滞在し、「きぼう」日本実験棟ロボットアームの子アーム取付けや実験運用などを実施。

2020年、米国人以外では初めてクルードラゴン宇宙船 運用初号機（Crew-1）に搭乗し、約5か月半、第64次/第65次長期滞在クルーとしてISSに166日間滞在。4度目の船外活動（EVA）や、「きぼう」日本実験棟における様々なミッションを実施。

主な講演テーマ

- 『国際宇宙ステーションへの旅 宇宙滞在 344日』
- 『宇宙飛行士として挑戦して見えてきた地平について』
- 『夢見た先の宇宙飛行』
- 『未来の科学者たちへ』